

県名	熊本県	商工会名	阿蘇市商工会
事業者名	合同会社アソウト		
題名	不動産活用を軸とした地域内承継と宿泊事業拡充への総合支援		



画像キャプション

氏名	増永 善太
支援テーマ	創業
	経営革新・事業再構築
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
○	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
	持続化補助金
	DX・IT化支援
	価格転嫁
	事業継続計画(BCP)
	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題
合同会社アソウトは、不動産仲介を主業としながら、阿蘇地域の空き家を宿泊施設として再活用する取り組みを行っている。これまでに3棟の棟貸し宿泊施設を運営し、地域の観光振興や移住促進にも寄与してきた。しかし、不動産事業を中心とする同社にとって、宿泊事業の拡大や新たな拠点の取得には相応の投資負担とリスクが伴い、資金計画の構築や運営体制の整備が課題であった。 そのような折、南阿蘇村で長年運営されていた宿泊施設が、経営者の高齢化を理由に事業承継先を探していた。地域資源の喪失を防ぐため、代表者は自社の不動産再生ノウハウを活かし、地域内での承継を決断した。しかし、土地建物の取得費、改修工事費、開業準備資金など多額の初期投資が必要で、資金調達の見通しが大きな課題であった。加えて、既存施設の老朽化に伴い、ペット同伴旅行や長期滞在に対応した設備整備も求められていた。 代表者はこれまで自社の経営努力により安定的な事業運営を行ってきたが、今回の承継はより大きなスケールの挑戦であり、効果的かつ戦略的に実行するための資金スキームや補助制度の活用が必要であった。こうした背景から、特任支援課・事業承継・引継ぎ支援センター・南阿蘇村商工会と連携し、事業承継から補助金・融資支援まで一貫した支援体制を整えることとなった。

支援内容
支援にあたっては、まず関係機関(特任支援課、事業承継・引継ぎ支援センター、南阿蘇村商工会)との連携により、承継スキーム全体の整理と金融調整を実施。土地建物の取得資金については、金融機関との協議を支援し、承継契約の締結に至るまでの資金確保をサポートした。地域内での事業承継を円滑に進めるため、関係機関との連携体制を構築し、情報共有を密に行った。 承継後は、宿泊事業の拡充を目的に「熊本県事業承継・後継ぎ支援事業補助金」の活用を提案。事業者が目指す“地域資源を活かした宿泊事業モデル”を具体化するため、令和7年5月上旬に専門家派遣制度を活用し、計画書内容の整理と申請書の完成度向上を図った。計画では、宿泊施設の敷地内にドッグランを整備し、既存建物を改修して共用キッチン进行の方針を明確にし、ペット同伴や長期滞在に対応できる宿泊環境の拡充を目指す内容である。 申請に際しては、スケジュール管理や予算構成、事業効果の整理までを伴走支援し、7月の採択決定に至った。また、補助事業の実施と並行して、運転資金確保のために小規模事業者経営改善資金(マル経)を6月～7月にかけて活用。資金面・計画面の両面から支援を行った結果、承継・補助金・融資を組み合わせた効果的な支援スキームを構築できた。これにより、地域資源を活かした新たな宿泊事業展開の基盤が整備された。

支援の経過	
期 間	支援内容
令和6年12月	承継支援体制の構築、関係機関連携開始
令和7年1月	土地建物取得に係る融資調整支援
令和7年3月	事業承継契約締結
令和7年5月	専門家派遣による補助金計画書ブラッシュアップ
令和7年5月末	熊本県事業承継・後継ぎ支援事業補助金の申請
令和7年6月～7月	補助事業実施および運転資金対応(マル経融資)

支援内容の感想
関係機関と連携し、事業承継から補助金活用・融資支援までを一貫して支援できた。経営者の前向きな姿勢と実行力により、地域の資源を活かした新しい宿泊スタイルの確立につながった。